

1. 単元名 1 1 「かけ算のひっ算 [1]」(全 1 1 時間) 3 年生

2. 単元の目標

{ 関心・態度 }

・桁数がふえても、乗法九九を用いれば計算できると考え、2, 3 位数の乗法の計算の理解に意欲をもつ。

{ 数学的な考え方 }

・1 つ分の大きさ \times いくつ分 = 全体の大きさ という乗法のことばの式や数直線などの図の表し方を理解し、それらを用いて問題を解決することができる。

{ 表現・処理 }

・2 位数や3 位数に1 位数をかける乗法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。

{ 知識・理解 }

・何十や何百に1 位数をかける乗法の計算原理や方法を理解し、計算することができる。

3. 単元指導計画

小単元	時	ねらい	主な学習活動	評価規準	子どものつまずきにに応じた 主な指導・援助
1 何十、何百のかけ算	1	20 × 4 の計算の原理を考える活動を通して、何十 × 1 位数、何百 × 1 位数の乗法の計算は、10 や 100 のかたまりの数をもとめることで計算できることを理解し、計算することができる。 【習熟度別】	<p>どんだんコース ; じっくりコース</p> <p>【問題】: 1まい20円の工作用紙を4まい買います。代金は何円でしょう。式は 20×4 です。</p> <p>【発】 20は、10のかたまりをいくつ集めた数?</p> <p>【課題】: 20 × 4 の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>【課題】: 20 × 4 の計算のしかたを10のかたまりの数をもとめて考えましょう。</p> <p>個人追求 【お金を使って考えると】 ・20は、10のかたまりが2つある。</p>  <p>10のかたまりが8こあるので80円</p> <p>【計算で考えると】 ・20×4は、$2 \times 4 = 8$をして80になる。 ・答え80円</p> <p>【10のかたまりの数を求めて考えると】 ・20は、10のかたまりが2こで、20×4の10のかたまりの数をもとめると $2 \times 4 = 8$となり、10のかたまりが8こで80だから $20 \times 4 = 80$となる。</p> <p>集団追求 ・$20 \times 4 = \square$</p>  <p>・$20 \times 4 = 80$</p> <p>【問】 60×2 の計算のしかたを考えましょう。 ・10が 6×2 で12こ $60 \times 2 = 120$</p> <p>【まとめ】: 20 × 4 の計算のしかた 10が 2×4 で8こ 頭の中で10の数を計算 【式】 $20 \times 4 = 80$ 答え 80円</p> <p>・【評価問題】 次の計算をしましょう。 40×2 30×3 70×6 50×4</p> <p>・【発展問題】 500×3 の計算のしかたを考えよう。</p> <p>・【習熟問題】 次の計算をしましょう。 300×2 200×4 400×7 600×5 [自己評価する。]</p>	知識・理解	<p>つまずきの様相</p> <p>何十 × 1 位数、何百 × 1 位数の乗法は、10 や 100 のかたまりの数をもとめる1 位数 × 1 位数の乗法でもとめられることを理解し、計算できる。</p> <p>・代金が80円であることは分かるが、2×4 で計算していることに気がつかない。</p> <p>・どうして 20×4 の計算を 2×4 で行うのか意味が分からない。</p> <p>・何十 × 1 位数の計算ができない。</p> <p>・何百 × 1 位数の計算ができない。</p> <p>評価方法</p> <p>・操作活動、ノート、質疑応答</p> <p>手だて</p> <p>・80と答えを出すために、どのような乗法九九を使ったを確認し、頭の中で 2×4 を行っていることに気づかせる。</p> <p>・お金模型をや10のかたまりのカードを使って、10のかたまりの数に着目させ、2や8の意味を理解させる。</p> <p>・何十 × 1 位数の計算は、10のかたまりの数をもとめる1 位数 × 1 位数の九九でできることを確認し、乗法九九を言わせながら答えを確認する。</p> <p>・何百 × 1 位数の計算は、100のかたまりの数をもとめる1 位数 × 1 位数の九九でできることを確認し、乗法九九を言わせながら答えを確認する。</p>
			2 位数 × 1 位数で、部分積にくり上がり	どんだんコース ; じっくりコース	<p>【問題】: 1本32円のえんぴつを3本買います。</p>

のない乗法の計算は、十の位と一の位の数を分けてかけ、加えることができることを理解し、筆算で計算することができる。
【習熟度別】

代金は何円でしょう。

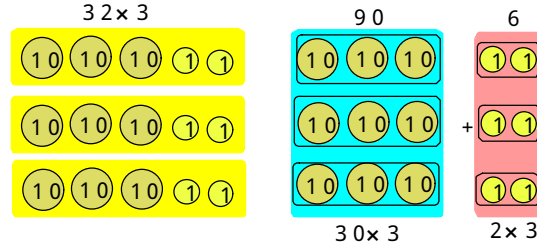
【発】 32×3 と 20×4 のちがいは？

【課題】 32×3 の計算のしかたを考えましょう。

【課題】 32×3 の計算のしかたを10のかたまりと1の数を分けて考えましょう。

個人追求

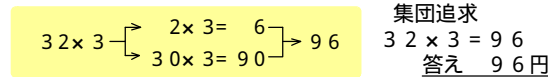
【お金を使って考えると】



- ・ 10のかたまりは、 $30 \times 3 = 90$
- ・ 1の数は、 $2 \times 3 = 6$
- ・ $90 + 6 = 96$ 答え 96円

【計算で考えると】

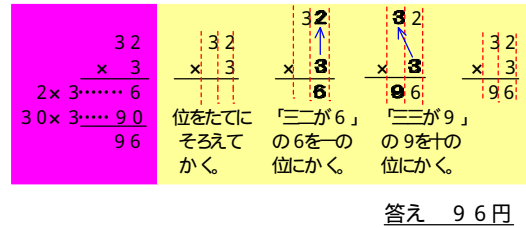
- ・ 32 は、 $30 + 2$ なので
- ・ 32×3 は、 30×3 と 2×3 を合わせるとできる。
- ・ $30 \times 3 = 90$ で $2 \times 3 = 6$ なので合わせて 96
- ・ 答え 96円



集団追求

$32 \times 3 = 96$
答え 96円

【まとめ】: 【式】 $32 \times 3 = 96$ ひっ算で計算する。
(ひっ算のやり方)



・ [評価問題]

次の計算をしましょう。

14×2 21×4
 22×3 43×2

・ [評価問題]

次の計算をしましょう。

14×2 21×4
 22×3 43×2

・ [発展問題]

1辺が12cmの正方形のまわりの長さは何cmでしょう。

【自己評価する。】

どんどんコース

じっくりコース

【問題】: 1こ23円のクリップを4こ買いました。全部で何円になるでしょう。式は 23×4 です。

【発】 32×3 の計算とどこが違うのだろう？

【課題】: 23×4 の計算のしかたを考えましょう。

【課題】: 一の位から十の位へくり上がりのある 23×4 の計算のしかたを考えましょう。

個人追求

【 23 を $20 + 3$ とみて計算すると】

- ・ $3 \times 4 = 12$
- ・ $20 \times 4 = 80$
- ・ $12 + 80 = 92$ 答え 92円

【ひっ算で考えると】

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline 12 \end{array}$$

部分積にくり上がりのない乗法が筆算で計算できる。

- ・ 32 が $30 + 2$ と考えられない。
- ・ 32×3 の計算は 30×3 と 2×3 をたしたものであることが理解できない。
- ・ 32×3 の筆算がかけない。
- ・ 筆算の計算ができない。

評価方法

- ・ 操作活動, ノート, 質疑応答

手だて

- ・ 前時のノートを振り返り、1位数の乗法九九のできることを確認する。
- ・ 32 をお金模型をや10のかたまりのカードを使って、10のかたまりと1を分けて提示し、 30 と 2 に分かれることを教える。
- ・ 32 をお金模型をや10のかたまりのカードを3組使って、10のかたまりと1に分け、全部をもとめる式を考える。
- ・ 位を揃えて書くことを、位の数を確認しながら数字を書いていく練習をする。
- ・ 初めに3を一の位の2にかけ、九九の答えを一の位のところに書く。次に3を十の位の3にかけ、九九でもとめた9を十の位のところに書くことを教え、練習する。

表現・処理

2位数×1位数で、部分積が十の位に乘法が筆算で計算できる。

つまずきの様相

- ・ 計算の仕方が思いつかない。
- ・ ひっ算がかけない。
- ・ くり上がった数が加えられない。
- ・ 筆算の計算が正しくできない。

評価方法

- ・ 操作活動, ノート, 質疑応答

手だて

- ・ 前時のノートを振り返り、 23 を $20 + 3$ とみて計算することを教える。

2
2
け
た
U
x

3
1
け
た
し
の
計
算

$\frac{80}{92}$ 答え 92円

集団追求

$23 \times 4 \begin{cases} \rightarrow 3 \times 4 = 12 \\ \rightarrow 20 \times 4 = 80 \end{cases} \rightarrow 92$

$23 \times 4 = 92$ 答え 92円

[まとめ]:【式】 $23 \times 4 = 92$ ひっ算で計算する。
(ひっ算のやり方)

$\begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline 3 \times 4 \cdots 12 \\ 20 \times 4 \cdots 80 \\ \hline 92 \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline 12 \\ \hline 8 \\ \hline 92 \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline 12 \\ \hline 8 \\ \hline 92 \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline 92 \end{array}$
--	---	---	--

「四三、12」 「四二、8」 1たす8は
の2を一の位 の8をくり 9。9を十
にかき、1を げた1にた の位にかく
十の位にくり たす。
上げる。

答え 92円

・[評価問題]
次の計算をしましょう。
 36×2 29×3

・[発展問題]
3年生を14人ずつに分
けたら5つのはんがで
きました。3年生は、全員
で何人でしょう。全
員は 14×5 です。

・[評価問題]
次の計算をしましょう。
 36×2 29×3

[自己評価する。]

3
4

2位数×1位数で、部分積が十の位と百の位にくり上がる乗法の筆算の仕方を理解し、計算することができる。
【習熟度別】

どんだんコース じっくりコース

[問題]:つぎのかけ算の計算のしかたをかんがえましょう。
 82×3 39×4 34×6

[発]: 23×4 の計算とどこが違うのだろうか?

[課題]:百のくらいにくり上がるかけ算の計算のしかたを考えましょう。

[課題]:百のくらいにくり上がるかけ算のひっ算の計算のしかたを考えましょう。

個人追求

【ひっ算で考えると】

$\begin{array}{r} 82 \\ \times 3 \\ \hline 6 \\ 240 \\ \hline 246 \end{array}$	$\begin{array}{r} 82 \\ \times 3 \\ \hline 246 \end{array}$
$\begin{array}{r} 39 \\ \times 4 \\ \hline 36 \\ 120 \\ \hline 156 \end{array}$	$\begin{array}{r} 39 \\ \times 4 \\ \hline 156 \end{array}$
$\begin{array}{r} 34 \\ \times 6 \\ \hline 24 \\ 180 \\ \hline 204 \end{array}$	$\begin{array}{r} 34 \\ \times 6 \\ \hline 204 \end{array}$

集団追求

$82 \times 3 \begin{cases} \rightarrow 2 \times 3 = 6 \\ \rightarrow 80 \times 3 = 240 \end{cases} \rightarrow 246$

$39 \times 4 \begin{cases} \rightarrow 9 \times 4 = 36 \\ \rightarrow 30 \times 4 = 120 \end{cases} \rightarrow 156$

$34 \times 6 \begin{cases} \rightarrow 4 \times 6 = 24 \\ \rightarrow 30 \times 6 = 180 \end{cases} \rightarrow 204$

表現・処理

2位数×1位数で、部分積が十の位と百の位にくり上がる乗法が筆算で計算できる。

つまずきの様相

- ・ひっ算がかけない。
- ・くり上がった数が加えられない。
- ・ひっ算が正しくできない。

評価方法

- ・操作活動、ノート、質疑応答

手だて

- ・位を揃えて書くことを、位の数を確認しながら数字を書いていく練習をする。
- ・一の位を計算してくり上がった十の位の数を十の位のところにメモし、後で加え、百の位にくり上がった数を百の位にメモし、後で加えることを教える。
- ・くり上がった数をメモし、十の位や百の位を書くときに、忘れず加えることを確認しながら練習させる。

[まとめ]:

$$\begin{array}{r} 82 \\ \times 3 \\ \hline 246 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 39 \\ \times 4 \\ \hline 156 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 34 \\ \times 6 \\ \hline 204 \end{array}$$

四九、36、
の6を一の
にかき、3を
十の位にくり
上げる。

四三、12、
の12をくり
上げた3にた
す。

3たす12
は15。5
を十の位に
1を百の位
にかく。

・[評価問題]

次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{ll} 32 \times 4 & 61 \times 5 \\ 58 \times 3 & 34 \times 7 \\ 87 \times 6 & 45 \times 7 \end{array}$$

・[評価問題]

次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{ll} 32 \times 4 & 61 \times 5 \\ 58 \times 3 & 34 \times 7 \\ 87 \times 6 & 45 \times 7 \end{array}$$

・[習熟問題]

次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{ll} 21 \times 6 & 52 \times 4 \\ 63 \times 9 & 24 \times 6 \\ 97 \times 7 & 35 \times 4 \\ 16 \times 8 & 56 \times 9 \\ 29 \times 7 & 54 \times 8 \end{array}$$

[自己評価する。]

どンドンコース

じっくりコース

[問題]:1回まわると312mのジョギングコースがあります。
ここを3回走りました。全部で何m走ったでしょう。

【発】1000mより長いだろうか?

見当: $300 \times 3 = 900$

[課題]:312×3の計
算のしかたを考えましょ
う。

[課題]:312×3を31
2を百のくらい、十のく
らい、一のくらいの数に
分けて計算しましょう。

個人追求

【312を300+10+2として考えると】

$$\begin{array}{l} \cdot 300 \times 3 = 900 \\ \quad 10 \times 3 = 30 \\ \quad \quad 2 \times 3 = 6 \\ \cdot 900 + 30 + 2 = 932 \quad \text{答え } 932 \text{ m} \end{array}$$

$$312 \times 3 \begin{cases} \rightarrow 2 \times 3 = 6 \\ \rightarrow 10 \times 3 = 30 \\ \rightarrow 300 \times 3 = 900 \end{cases} \rightarrow 936$$

集団追求

・3けた×1けたのかけ算もひっ算でできる。

$$\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 936 \end{array}$$

[まとめ]:

$$\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 936 \end{array}$$

・[評価問題]

次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{l} 231 \times 3 \\ 212 \times 4 \\ 244 \times 2 \\ 320 \times 3 \end{array}$$

・[評価問題]

次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{l} 231 \times 3 \\ 212 \times 4 \\ 244 \times 2 \\ 320 \times 3 \end{array}$$

・[習熟問題]

次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{l} 323 \times 3 \\ 431 \times 2 \end{array}$$

3位数×1位数で、部分積にくり上がりのない乗法でも、各位の数に分けてかけ、加えることによって計算できることを理解し、筆算で計算することができる。

【習熟度別】

表現・処理

3位数×1位数で、部分積にくり上がりのない乗法が筆算で計算できる。

つまずきの様相

- ・ひっ算がかけない。
- ・ひっ算が正しくできない。

評価方法

- ・操作活動,ノート,質疑応答

手だて

- ・位を揃えて書くことを、位の数を確認しながら数字を書いていく練習をする。
- ・かける数を一の位、十の位、百の位へと順にかけ、答えを順に書いていく。

3
3
け
た
×
6
1
け
た
の
計
算

$$\begin{array}{r} 122 \times 4 \\ 242 \times 2 \end{array}$$

[自己評価する。]

どんだんコース じっくりコース

[問題]: つぎのかけ算をひっ算で計算しましょう。
 873×4 405×9 340×5

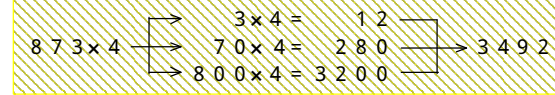
[発]: 312×3 とどこがちがうのだろうか?

[課題]: くり上がりのある(3けた)×(1けた)のかけ算の計算のしかたを考えましょう。

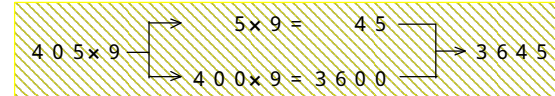
[課題]: 十の位、百の位、千の位にくり上がる数を考えて、(3けた)×(1けた)のひっ算をしよう。

個人追求

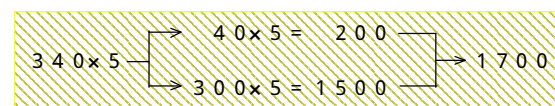
【 873×4 】



【 405×9 】



【 340×5 】

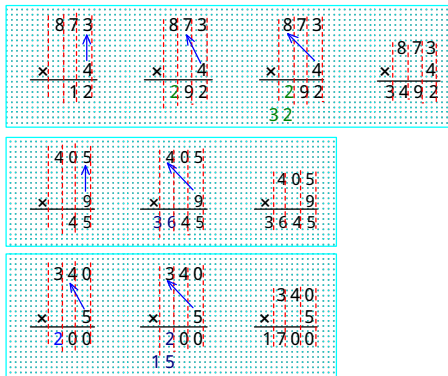


集団追求

・ひっ算で考える。

$$\begin{array}{r} 873 \\ \times 4 \\ \hline 8492 \end{array} \quad \begin{array}{r} 405 \\ \times 9 \\ \hline 3645 \end{array} \quad \begin{array}{r} 340 \\ \times 5 \\ \hline 1700 \end{array}$$

[まとめ]:



・[評価問題] 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{l} 351 \times 7 \\ 779 \times 4 \\ 557 \times 9 \\ 308 \times 7 \\ 840 \times 5 \end{array}$$

・[評価問題] 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{l} 351 \times 7 \\ 779 \times 4 \\ 557 \times 9 \\ 308 \times 7 \\ 840 \times 5 \end{array}$$

・[習熟問題] 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{l} 325 \times 3 \\ 266 \times 8 \\ 334 \times 3 \\ 604 \times 5 \\ 750 \times 4 \end{array}$$

[自己評価する。]

どんだんコース じっくりコース

[問題]: あきらさんたちは、1人 円ずつ出し合っ
て、4人で花たばを買いました。
花たばは何円だったでしょう。

[発]: には、どんな数が入りそうですか。

表現・処理

3位数×1位数で、部分積にくり上がりがある場合や被乗数に空位のある乗法を筆算で計算することができる。

つまずきの様相

- ・ひっ算がかけない。
- ・ひっ算が正しくできない。

評価方法

- ・操作活動、ノート、質疑応答

手だて

- ・位を揃えて書くことを、位の数を確認しながら数字を書いていく練習をする。
- ・かける数を一の位、十の位、百の位へと順にかけ、答えを順に書いていく。

表現・処理

3位数×1位数や4位数×1位数の乗法が筆算でできる。

つまずきの様相

- ・ の数が決められない。
- ・立式できない。
- ・筆算で計算できない。

算が筆算でできるようにする。
【習熟度別】

【課題】□に2けたの数や3けたの数そして3けたよりも大きい数を入れて問題を作り、花たばのねだんをもとめよう。

【課題】□に2けたの数や3けたの数を入れて問題を作り、花たばのねだんをもとめよう。

個人追求

【式】□□□ × 4 = □□□□ 答え □□□□円

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ \times \quad 4 \\ \hline \square \square \square \square \end{array}$$

集団追求

・一人一人の問題と答えの求め方を交流する。

【まとめ】:4けた×1けたのかけ算も同じようにできる。

$$\begin{array}{r} \square \square \square \square \\ \times \quad 4 \\ \hline \square \square \square \square \end{array}$$

・【評価問題】
次の計算をしましょう。
1358 × 4

・【評価問題】
次の計算をしましょう。
1358 × 4

・【発展問題】
いろいろなわり算の問題
を作って、答えをもとめ
ましょう。

【自己評価する。】

7

評価方法

・操作活動、ノート、質疑応答

手だて

・初めに3桁の数で自由に決めることを確認し、3桁の数を言わせ、書く。

・出したお金□□□□円と人数4人を教え、全体をもとめる式を考えさせる。
その後、□□□□ × 4を教える。

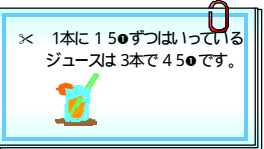
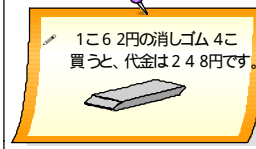
・前時までの学習を振り返り、筆算の計算のしかたを確認する。
次に、1の位から順にかけていき、くり上がった数を加えていくことを教える。

乗法を用いる具体的な場面を考察し、数量関係をことばの式で表す活動を通して、乗法を用いる場合の一般的なことばの式をまとめることができる。
【習熟度別】

どんどんコース

じっくりコース

【問題】:つぎのにも、にもあうことばの式をつくりましょう。



【発】!を式に表しましょう。

【課題】:62 × 4 = 248、"15 × 3 = 45にあうことばの式を考えよう。

【課題】:62 × 4 = 248、"15 × 3 = 45のそれぞれのことばの式を考え、同じところを見つけよう。

個人追求

・! "1このねだん" × 買う数 = 代金
・"1つ分のかさ" × 本数 = 全体のかさ

・!と"のことばの式を1つにまとめる。
1つ分の大きさ × いくつ分 = 全体の大きさ

集団追求

・ $\frac{62}{1\text{このねだん}} \times \frac{4}{\text{買う数}} = \frac{248}{\text{代金}}$

$1\text{つ分の大きさ} \times \text{いくつ分} = \text{全体の大きさ}$

・ $\frac{15}{1\text{つ分のかさ}} \times \frac{3}{\text{本数}} = \frac{45}{\text{全体のかさ}}$

$1\text{つ分の大きさ} \times \text{いくつ分} = \text{全体の大きさ}$

【まとめ】:
 $1\text{つ分の大きさ} \times \text{いくつ分} = \text{全体の大きさ}$

$$\begin{array}{rcl} 62 & \times & 4 & = & 248 \\ 15 & \times & 3 & = & 45 \end{array}$$

・【評価問題】
テープを18mずつ5人にくばります。「1つ分の大きさ」と「いくつ分」を表す数を考えて式をかき、テープは全部で何m

・【評価問題】
テープを18mずつ5人にくばります。「1つ分の大きさ」と「いくつ分」を表す数を考えて式をかき、テープは全部で何m

8

数学的な考え方

乗法を用いる場合のことばの式を考え、一般的なことばの式にまとめることができる。

つまずきの様相

・2つの具体的な場面の立式ができない。

・式とことばの式の関係が分からない。

・一般的なことば式をもとに、乗法の場面の立式ができない。

評価方法

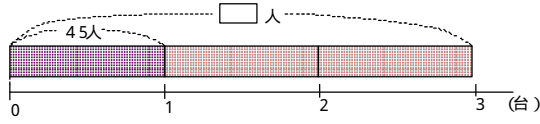
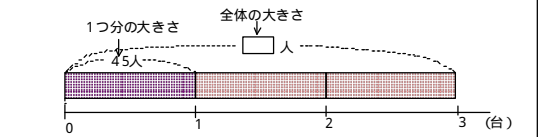
・操作活動、ノート、質疑応答

手だて

・62円、4こ、248円の3つの数量の意味を言葉で言い、3つの数量の関係をいっしょに確認する。

・式の数量を見ながら、3つの数量の意味を言葉で言い、ことばの式に作り替えていく。

・まとめのことばの式を見ながら、1つ分の大きさ、いくつ分、全体の大きさにあてはまる数量を探させ、当てはめた式を作らせる。

<p>4 こ と ば の 式</p>	<p>具体的な乗法の場面のことばの式や図を考える活動を通して、ことばの式や図を元に立式し、問題を解決することができるようにする。 【習熟度別】</p>	<p>いるかをもとめましょう。 いるかをもとめましょう。</p> <p>・ [習熟問題] 19×3 37×2 15×6 63×3 84×2 80×4 56×4 34×3 56×6 321×3 374×2 456×7</p> <p>[自己評価する。] どんどんコース じっくりコース</p> <p>【問題】バスが3台あります。1台に45人ずつのれます。全部で何人のれるでしょう。ことばの式や図を使って考えましょう。</p> <p>【発】どのようなことばの式や図が使えるだろうか？</p> <p>【課題】:ことばの式や図をつかって、全部の人数をもとめる式をつくり、何人のれるかもとめよう。</p> <p>【課題】:ことばの式やテープ図をつかって、全部の人数をもとめる式をつくり、何人のれるかもとめよう。</p> <p>個人追求 ・ことばの式で考える $1つ分の大きさ \times いくつ分 = 全体の大きさ$ $45 \times 3 = 135$</p> <p>・テープ図で考える</p>  <p>集団追求 ・ $45 \times 3 = 135$ 答え 135人</p> <p>[まとめ]:</p>  <p>$1つ分の大きさ \times いくつ分 = 全体の大きさ$ $45 \times 3 = 135$ 答え 135人</p> <p>・ [評価問題] ランプを4人にくばったら、ちょうど13枚ずつになりました。「1つ分の大きさ」と「いくつ分」を表す数を考えて式をかき、はじめのランプが何まいあったかもとめましょう。</p> <p>・ [習熟問題] 計算ドリルの問題を行う</p> <p>[自己評価する。]</p>	<p>表現・処理</p> <p>乗法の場面をことばの式や図に表すことができ、それらを元に立式し、解決することができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばの式が分からない。 図がかけない。 立式できない。 <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作活動、ノート、質疑応答 <p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時のノートのまとめを見させ、確認させる。 今までに学習したブロック図やテープ図などを見させ、選択させる。 3つの数の数量関係を図又はことばの式からつかませ、当てはめさせる。
<p>5 ま と め</p>	<p>単元の練習をする。 【習熟度別】</p> <p>単元の復習をする。 【習熟度別】</p>	<p>・教科書P.25の「れんしゅう」をする。</p> <p>・計算プリント</p> <p>・教科書P.26の「まとめよう」をする。</p> <p>・文章問題プリント</p>	<p>関心・態度 分からないことは自ら質問し、進んで問題に取り組むことができる。</p> <p>関心・態度 分からないことは自ら質問し、進んで問題に取り組むことができる。</p>	<p>つまずきの様相 なかなか問題に取り組めない。</p> <p>評価 ・ノート記入の態度</p> <p>手だて ・同様な児童を集め、見届けながら問題に取り組ませる。</p> <p>つまずきの様相 なかなか問題に取り組めない。</p> <p>評価 ・ノート記入の態度</p> <p>手だて ・同様な児童を集め、見届けながら問題に取り組ませる。</p>